

道東ブロックトレセンU-11 in 釧路報告書

期日 9月25日

会場 河畔Cグラウンド

参加選手 小野寺 辰貴(R シュペルブ)伊藤 大貴、小川 一熙、畠山 椋、吉田 柚季(SSM)
福島 龍乃介(オストラ)風呂谷 晃平(コンバット)百瀬 瑞季(昭和)
小野 大成、沼澤 秀斗(ドリーム) 10名

はじめに

今回のブロックトレセンは、来年2月に行われる北海道トレセン U-11 冬季交流大会もにらみながら初めての試みとして各地区より選手を選抜し、全35名をシャッフルして3グループに分け、またスタッフもシャッフルしてペアを組んで3グループに分けて各グループごとに午前にトレーニング・午後からゲームを行った。

(全35名-釧路・十勝・網走10名、根室5名、うち各地区 GK 1名)

○トレーニング内容

テーマ ボールワーク

オフザボールの動き

ボールを奪う

○トレーニングを行ってみて

釧路トレセンスタッフ 新谷 昭典

今回のトレーニングは各地区から北北海道トレセンに選考されそうな選手を集めてトレーニングを行い、互いにレベルを高めるものとなった。だが選手の実態を見るとかなりの格差(特に止める・蹴る・運ぶの差)を感じた。その中で3つのテーマを中心に約2時間トレーニングを行った。テーマも多く、1つのテーマをじっくりと落とし込むというよりは、選手に攻守共にこのぐらいのレベルまでできるようになってもらいたいと伝えるような形のトレーニングとなった。各地区のコーチ間ではHFA安田氏を中心に子どもたちに伝える内容を共有し、統一した内容を伝えることを意識した。選手間でも刺激があったようで技術を高めあう・仲間を増やす良い機会でもあったが、コーチ間でも情報共有・交換ができ、有意義な時間となった。

・ボールワーク

このテーマでは、パスの質(距離に応じた適切なスピードで狙った場所にボールを送る)やコントロールの質にこだわった。特にコントロール後のボールの置き所を意識させることを全コーチが共通して行った。ただ自分の前にコントロールするだけでは足で押し出すだけのパスの動作や直線方向だけのキック(パス)になってしまうが、右足なら右斜め前に意識してボールを置き、腰をひねる、軸足をしっかり置く・踏み込み、蹴るということを繰り返し、ただ前方に押し出す動作だけのパスではなく、良い場所にボールを置き、蹴りだす・斜めに意識してボールを置くことで直線方向だけでなく斜め方向にも軸足次第で蹴り分けられるというキックを子どもたちに意識させて行った。

・オフザボールの動き

このテーマではオンスキルでの観る・観ておく、選択肢をもつ、判断する、パス&コントロールの質にこだわりながらもオフスキルとしてのいつ関わる、どこで関わるといった内容を伝える形になった。普段から観る・観ておくということをしていないということを実感するようなプレーが続き、なかなか子ども達に落とすのが難しかった。ただし、順を追って伝えるべきことを伝えることで選手たちのプレーが良い方向に変わっていくのは感じたが、常にこのような場面・状況を想定し、トレーニングを行うことの重要性を感じ、改めて日常のトレーニング環境の大切さを感じた。関わる意識が子ども達に落ちてくると自然に運動量も増え、その姿はゲームでも少し見られた。

・ボールを奪う

このテーマでは、相手の状態、ボールをよく見て奪いに行くといった内容を伝えながらも良いポジショニングからチャレンジ&カバーの意識ももちながらディフェンスをすることを伝えていった。攻撃の質が低く、なんとなく奪えている部分が多かったが、攻撃の質が上がり、子ども達のポジショニングが変わってくると、判断せずただ奪いに行く・一発でいってしまう状況が明確になった。また1STDFが奪いに行くようになったときに2NDDF、3RDDFの位置の遠さが目立ち始めた。最終的にインターセプトを積極的に狙う選手が増え、粘り強い1対1・相手、味方を意識したポジショニングがとれるように変化してきた。

〇おわりに

今回が初めての試みであったが、今の釧路のトップの選手と道東各地区のトップの選手を比較する上で非常に有意義であったと思う。選手にとっても他地区の選手とのトレーニングは初めてであり最初は緊張も見られたが、徐々に慣れてきて刺激になったようであった。全体を見て好プレーを見せる選手は釧路の選手が多かったように思える。

今年のブロックトレセンを通して、他地区との試合では互角以上に戦うことはできた。しかし、課題も多く見受けられた。2月の北北海道トレセンや来年度のナショナルトレセンに一人でも多くの選手を輩出できるよう、冬季のトレーニングの質を高めていきたい。

最後に、この1年間各チームの協力を得ながらほぼ毎月開催された道東ブロックトレセンは、無事に終了することができました。大変感謝いたします。今後ともトレセン活動にご理解・ご協力よろしくお願い申し上げます。

文責 U-11 トレセンスタッフ 中瀬 満